

# 2017(平成 29)年度事業計画

2017(平成 29)年 4 月 1 日から 2018(平成 30)年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

## 1 事業実施の方針

東日本大震災から 6 年が経過した。沿岸部の被災各地ではハード整備が続けられており、いまだ復興計画の途上の段階にある。長引く仮設住宅での見守り体制や災害公営住宅や高台移転によるコミュニティの再構築の課題に加え、もともと東北地方に存在する若者流出や過疎化などの問題が重なり、ますますソフト対策が重要となっている。さらに、原発事故を抱えた福島県では、仮設住宅家賃供与の停止や避難指示の解除など、帰還政策が矢継ぎ早に出されるも、肝心の県民の意識が追い付いていない。この間、極めて複雑に絡まった糸がなかなかほどけない状態のまま、個々の抱える課題だけは、ますます深刻化・個別化している。

一方、熊本地震による被災者は、ようやく仮設住宅に入居したのもつかの間、恒久住宅への移転や復興まちづくりという根本的な課題に向けた取り組みが本格化する。ただし、全国的にも風化は顕著で、息の長い支援が求められている。

こうした現状を踏まえ、宮城県七ヶ浜町での継続的支援は、生の声を聞き、被災者のニーズに対応してきた当法人への期待となって、行政からも住民からも支持を得ており、本年度も、スタッフを常駐させる。特に、7 月には「みんなの家きずなハウス」(みんなの家プロジェクトと当法人の共同事業)が完成予定で、地域の賑わい・憩いの場としての活用方法を新しく創造していく。また七ヶ浜の若い世代が、自分たちの町の魅力を伝えたいと積極的に活動していることへのサポート活動を継続する。愛知県への県外避難者への支援は、愛知県被災者支援センター運営業務を通じて継続する。また、福島県民の生活再建支援(帰還支援含む)と交流事業も継続する。

熊本地震については、昨年末まで常駐体制を敷いた御船町を中心に、仮設住宅等の訪問等による支援や被災した集落や小規模店舗への生業支援、御船の子どもたちと愛知・岐阜の子どもたちとの交流ツアーなどを企画し、支援活動を継続する。

集中豪雨水害に対しては、タイムリーな支援と同時に、避難所環境改善支援など専門性のある支援がムラなく行えること、また、JVOAD の枠組みを活用しつつ、災害支援団体間はもちろん、内閣府、地方自治体、企業等多様なセクターとの連携強化をめざす。

平常時の活動では、地域や子ども向け防災啓発活動、避難行動要支援者支援、避難所運営、外国人支援などをキーワードに、地域ニーズに沿ったアプローチを丁寧に関拓・提供していくことを目標にし、以下の事業を進める。

## 2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員 4 名、嘱託職員 4 名、アルバイト 3 名

【七ヶ浜事務局】嘱託職員 2 名、アルバイト 6 名(現地採用)

【愛知県被災者支援センター】派遣嘱託職員 2 名、派遣アルバイト 2 名

## 3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業			
事業名	主体・協働先	事業内容	
東日本大震災支援関係	七ヶ浜町基本支援	RSY	■災害公営住宅・高台移転住民支援(七ヶ浜町社協と連携しながらのサロン活動など) ■「みんなの家きずなハウス」の運営(七ヶ浜町老人福祉センター内から、新築に移転予定。7 月) ■「きずな号」の運営と各種イベント(釣り企画、海苔すき体験等) ■町の魅力伝える住民サークル(はまのわ実行委員会等)の運営サポート ■復興のまちづくり支援
	復興庁「心の復興事業」	RSY	世代間交流を通じた地域の支え合い・生きがいの場づくり事業(災害公営住宅/防災集団移転地住民と町内子どもたちとの世代間交流)

連	ネットワーク		<ul style="list-style-type: none"> <li>■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)</li> <li>■愛知県被災者支援センター(愛知県委託事業/事務局担当)</li> <li>■東日本大震災支援ボランティアセンターなごやへの参画</li> </ul>
	福島県会津美里町支援	RSY	檜葉町から宮里仮設住宅へ避難されている方々との交流
	県外避難者支援	RSY	愛知県被災者支援センター業務の運営、活動を通じて繋がった被災者を対象に、サロン活動など
緊急救援	RSY		災害現場へのスタッフ派遣、資器材送付、
「うるうるパック」配布	災害ボランティア支援プロジェクト会議(支援P)		被災地(東北被災3県、熊本県等)へのうるうるパックの配布。
災害ボランティア活動資器材の調査	災害ボランティア支援プロジェクト会議(支援P)		実行委員会を設置し、全国に点在する災害ボランティア活動資器材の実態等を調査する企画立案、事務局担当
福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業	ふくしま連携復興センター		福島県から岐阜・三重の2県に避難している方向けの生活再建(帰還支援を含む)に関する事業(地域分室として受託)(愛知県は愛知県被災者支援センターで対応)。
福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業	RSY		<ul style="list-style-type: none"> <li>■福島県から岐阜・三重県に避難している世帯に対する個別訪問事業。</li> <li>■愛知・岐阜・三重の3県に避難している世帯対象の福島復興体感ツアー(復興状況視察、帰還者交流会等)</li> </ul>
小規模集落のコミュニティ再生と震災の風化防止のための交流事業(ボラサポ九州助成事業)	RSY		熊本地震の被災者の生活再建支援と、集落の活性化に繋がる交流・生業支援事業。特に、御船町の小学校の子ども達や集落住民の方々と愛知、岐阜の子どもたちとの交流を通じて、町の風土や豊かな自然にも触れ、震災体験を学べるプログラムを企画
周年	RSY・各地の被災地		■阪神・淡路大震災周年の各種事業に参加■東海豪雨を語り継ぐ集いへの参加等。
復興支援	RSY		■被災地復興イベント支援■被災地と被災地をつなぐ。
ぼくの夢、わたしの夢(FOR子ども支援基金)	RSY		東日本大震災で、東海3県に避難している子どもたちの叶えたい夢を応援する活動。将来の夢について作文を募集し、入選者には、その欲しいものを届け、その後の活用の様子などをレポートしてもらう企画。3年目。
<b>調査研究・出版事業</b>			
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>	
大学連携	名古屋大学	名古屋大学減災連携研究センター社会連携推進会議委員	
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携事業など	
大学連携	名古屋学院大学	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の一環として、「減災福祉まちづくり学・演習」の非常勤講師を受託。	
<b>人材交流・ネットワーク推進事業</b>			
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>	
会員寄附拡大	RSY	賛助会員、寄附者拡大施策。ボランティアの拡大も含む	
RSY ボランティア DAY	RSY	主に RSY 企画の実施時に、広くボランティアを募集して活動していただく	
名古屋ネット	名古屋市など	<ul style="list-style-type: none"> <li>■なごや災害ボランティア連絡会/なごや防災ボラネット参画</li> <li>■三遠南信交流会</li> <li>■子ども防災デイキャンプ</li> <li>■名古屋市職員研修受入。</li> </ul>	
愛知県ネット	愛知県など	愛知県防災会議・同幹事会出席。防災のための愛知県ボランティア連絡会・定例会議出席。あいち防災協働社会推進協議会定例会出席。県二年目研修生受け入れ	

岐阜県ネット	岐阜県など	岐阜県災害ボランティア連絡会出席。清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネーター委嘱、コーディネーター会議、げんさい楽座への参画、岐阜県防災リーダー育成研修講師など
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	静岡県ボランティア協会：静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加、同訓練ワーキンググループへの参画。市民サミットへの参画。
全国ネット	全国の NPO・NGO・社協・企業など	東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) 代表世話人、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援 P) 幹事、震災がっなぐ全国ネットワーク(震つな)事務局担当・代表・事業担当。NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 代表理事・運営委員・避難生活改善に関わる専門委員会ほか担当
NPO ネット	名古屋市内 NPO 等	中間支援 NPO などとの交流・連携。東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会参加。
愛知県内 NPO 連携事業 (モリコロ助成事業)	RSY	災害関連の NPO にとどまらず、大規模災害時を見据えて、事前のネットワーク化に取り組む。2 年目。
東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業 (タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム助成事業)	RSY	東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業の 3 年目。愛知・岐阜・三重・静岡 4 県のネットワーク間の連携の実績も積んでいく。
中日サバイバルキャンプ	中日新聞事業部	RSY は企画参加、監修。
あそぼうさいまなぼうさい (コープあいち助成事業)	RSY	あそぼうさいまなぼうさいの人気ブース運営を自前でできるよう備品整備を中心に、インフラ整備し、実施する。
海でつながるプロジェクト 2017	蒲郡市	蒲郡市のボートレース場で行われる近隣住民むけ家族防災イベントの防災コーナーを担当。
あそぼうさいまなぼうさい in リーフウォーク稲沢	稲沢市	ユニー(株)と共同で、稲沢市の協力も得て、ショッピングモールでの子ども向け防災イベント。
あそぼうさいまなぼうさい in 大府	大府市社会福祉協議会	アピタ大府店に協力要請し、ショッピングモールでの子ども向け防災イベント
多文化防災ネットワーク	多文化防災ネットワークあいち・なごや	愛知・名古屋の災害時の外国人支援について、学び、連携を強化していく活動。RSY は発起人。参加。
社会見学・学生インタビュー、インターン受け入れ	RSY	中学生の社会見学：桑名市立陽和中学校生他 高校生インターン：名古屋市立工芸高校生他
養成講座・研修事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>
防災人材育成(防災・減災カレッジ)	あいち防災協働社会推進協議会	事務局を担当。
みずから守るプログラム	愛知県	ハザードマップ作り (2 市 2 区) 大雨行動訓練 (1 市 1 区)
外国人留学生向けの防災教室	名古屋市昭和区	外国人向けの防災教室。南山大学留学生対象。港防災センター見学。非常食紹介。
中学校防災講演会	大府市	市内中学校 4 校を対象とした講演会。
商店街緊急対応計画	名古屋市中区	3 年目。
避難所運営	名古屋市中村区	一泊二日の避難所訓練および、障がい者避難所運営マニュアルの作成サポート
地域防災リーダー養成講座	清須市	地域防災リーダー養成のための講座。

防災ネットきずこう会 支援	高浜市	事業者に対する防災・減災対策の推進、防災リーダー養成講座、防災リーダー養成講座（フォローアップ編）、外国人向け防災・減災イベント
災害ボランティアコーディネーター養成講座	瀬戸市	災害ボランティアに関わる講演会、WS など。
自主防災組織活性化	安城市・安城市社協	自主防災組織支援事業として、西中学校区の自主防災組織による一般避難所開設訓練と自宅から避難所までの避難行動訓練
減災まちづくり研究会 運営支援	安城市	安城市が設置した減災まちづくりの研究会の企画・運営。今年度は「家具等転倒防止」をテーマに年間を通して取り組む
地域防災リーダー育成 講座	岐阜県岐南町	地域防災リーダー養成のための講演会
各務原市防災ひとづくり 講座	岐阜県各務原市	災害・防災ボランティアに関わる講演会・WS
災害 VC 養成・フォロー アップ講座	名古屋市	災害ボランティアコーディネーター養成講座 25、26 期、フォローアップ講座の企画・運営。
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out (指定された開催日時に参加者が自主的に行う大規模防災訓練)。
防災フェスタ	なごや防災ボラネット	防災啓発イベントのための、防災コーナーでの企画・運営。中村区・中川区合同主催
ボランティア研修会	真宗大谷派	過去の受講者を参加対象に実地研修 東日本大震災の事業意見交換会
防災研修事業	日進市	日進市内の自主防災組織への防災対策に関する研修事業
協働モデル地区事業	蒲郡市	拾石町をモデルに、防災マップづくり、避難所運営学習会・訓練、防災講演会などの企画・運営
被災者支援サポーター 講座	RSY	災害支援をテーマとした人材育成事業
広報関連事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・連携先</b>	<b>事業内容</b>
あるある(機関紙)	RSY	年 6 回発行。ボランティアによる「編集会議」実施 (週一回)。会員、その他関係機関などを対象に約 600 部。
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
各種検討会等		
<b>依頼先</b>	<b>内容</b>	
内閣府	■災害対策標準化推進 WG(栗田) ■防災教育チャレンジプラン実行委員会(栗田)	
愛知県	■防災のための愛知県ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■愛知県防災対策有識者懇談会(栗田) ■あいち防災協働社会推進委員会(栗田) ■愛知県防災会議・同幹事会(栗田) ■愛知県防災人材のあり方検討会(栗田) ■愛知県みずから守るプログラム勉強会アドバイザー委員会(栗田) ■愛知県避難所運営マニュアル検討会議 (栗田)	
岐阜県	■清流の国ぎふ 防災・減災センター コーディネーター (栗田) ■岐阜県災害ボランティア連絡会 (栗田)	
茨城県	■茨城県減災対策検討会議委員 (浦野)	
名古屋市	■なごや災害ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■名古屋市地震対策専門委員会(栗田) ■名古屋市市民活動推進協議会(栗田) ■地域福祉に関する懇談会 (栗田) ■名古屋市消費者市民社会研究会 (浦野)	
愛知県社協	平成 29 年市町村社協災害対応支援部会(浦野)	
岐阜県瑞穂市社協	災害ボランティア連絡会副座長 (栗田)	
名古屋国際センター	アドバイザー委員会 (栗田)	
中央共同募金会	■災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(栗田) ■赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト選出委員会(松山)	

静岡県ボランティア協会	■東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会(栗田・松山) ■ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワーク常任委員会(栗田)	
日本災害復興学会	副会長・理事(栗田) 理事(浦野)	
名古屋学院大学	大学COC事業名古屋キャンパス委員会(浦野)	
全国社会福祉協議会	都道府県における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会(松山)、災害ボランティア活動ブックレットシリーズ制作委員会(松山)	
非常勤講師		
<b>依頼先</b>	<b>内容</b>	
至学館大学・同短期大学	総合社会参加(ファシリテーション)論(栗田)	
名古屋学院大学	減災福祉まちづくり論・演習(浦野)	
椋山女学園大学	安全学(浦野)	
関西学院大学	災害復興学入門(浦野)	
愛知淑徳大学	違いを共に生きる・ライフデザイン(浦野)	
岐阜大学	防災リーダー育成講座(栗田)	
被災地スタディツアー事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・連絡先</b>	<b>事業内容</b>
スタディツアー	RSY	1. 17 阪神・淡路大震災23年目に合わせて現地で黙とう等刈羽村

収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	「被災者が一番伝えたいこと」「避難所運営の知恵袋」震つなブックレット等の販売
物品販売	耐震DVD・防災紙芝居の販売
防災用品の開発・販売	防災グッズ(じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等)